

## 所信 表明

ひと・郷土・輝ぐ村に！

第34代産山村村長 佐藤 敬助

本日、平成21年第10回村議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方にはご健勝にてご出席を賜り厚く御礼申し上げます。この度多くの村民の皆様にご支持をいただき、引き続き村政を担当させていただきますことになりました。今地方自治体を取り巻く経営環境は、大変厳しい状況下にあります。皆様の信頼を心の糧に村長としての使命と責任を果たすべく、全力を傾注し、皆様方の期待に応えてまいりたいと決意を新たにしております。今後の村政運営につきましては議員の皆様にはもとより村民の皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、我が国の政治経済は政治においては民主党政権に移行し、年金や医療などさまざまな制度が変わろうとしております。また経済につきましても昨秋以降の世界的な経済危機により、依然として景気回復の兆しの見えない中、政府は緊急経済対策を決定をいたしておりますが、その結果、09年度の国の一般会計予算は総額の半分以上借金で賄うという異常事態とのことであります。また、来年度も急激な景気回復は見込めず、本年度と同様に税収の落ち込みが続くものとの見解でございます。このような状況を見てまいらなければならぬと思っております。地方自治体を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。財政状況もこれまでの積み重ねにより、改善の兆しも見えてまいりました。私は、今後の社会経済情勢の変化に弾力的に対応していくためには、政策として掲げております行財政改革の推進を第一に将来も安心できるような財政運営並びに諸々の問題であります第3セクターの経営改善、さらなる経営改善、そして職員の力を最大限に引き出すさまざまな方策を進めてまいりたいと考えております。

また、医療・介護・福祉の充実ということがございますが、高齢化社会を迎え、介護を必要とする高齢者の方が安心して産山で過ごせるよう在宅サービスを中心とした高齢者福祉施策の充実を図ってまいります。次に、学校教育の充実であります。学校教育では郷土愛や確かな学力を育むため、小・中一貫教育を初め、さまざまな取り組みをおして地域の教育力、教育効果を高める施策を行ってまいりましたが、今後もヒゴタイ交流、産山交流など産山の特色ある事業を促進するとともに地域が学校を支える支援体制を充実することにより、子どもたちの社会性や学力向上のための施策を推進してまいります。

また、農林業の振興でございますが、村の基幹産業であります農業、畜産業、林業は価格の低迷、所得の減少及び経営者の高齢化、後継者、担い手不足と経営環境は厳しい状況下にあります。このような状況を克服するためには農業の法人化、新規就農者の受け入れ体制の整備、自給飼料率向上のための施策を推進してまいりたいと考えております。また、農産物の加工から販売へと結びつける6次産業の展開と新たな農産物の導入と地域農業の確立に向けた取り組みを行ってまいります。次に、林業につきましても、計画的な森林整備を推進し、森林の持つ多面的機能を十分に生かしながら将来に向けた生産と効果、利用の両立を図ってまいります。また、交通網の整備でございますが、当面スクールバス路線の老朽化した橋梁の改修に着手するとともに村道竹ノ畑板木線の改良工事も着手すると進めてまいります。そして池山までの改良計画を推進し、安全で快適な道路網の整備を行ってまいります。

また、情報通信の充実というところでございますが、高度情報化社会の到来で情報通信の機能は一段と向上し、現在電子納税あるいは電子入札等導入されているところがございます。こうしたものも含めまして今後特産品の取引あるいは行政と家庭との双方向通信による災害情報の伝達などの利便性を一段と向上させる光ブロードバンドの整備促進に努めてまいります。

また、観光事業の振興でございますが、近年の景気低迷、類似施設の増加等により観光客も減少傾向にあります。本年度作成しております観光基本計画を踏まえ、村の活性化、活力の創造を目指し、積極的に観光振興を図ってまいります。

以上、所信の一端を申し述べさせていただきます。具体的な施策につきましては、新年度予算審議と合わせまして方針を申し上げたいと思っております。